

10.九州（地域別調査機関：（財）九州経済調査協会）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる	一般レストラン（経営者）	・宴会需要が落ちているのが気になるが、年末年始の需要はかなりのものなので、期待できる。
	やや良くなる	商店街（代表者）	・秋冬のイベントにより需要が増えてくる。
		一般小売店〔鮮魚〕（店員）	・これから年末に向かうので、売上が上がる。雰囲気的にはいくらか良くなった感じがするが、同業者の話ではあまりよくないみたいなので、油断はできない。
		コンビニ（店長）	・近所で新幹線工事が始まり、多くの工事関係者が買物に来るので少しは良くなると思う。
		衣料品専門店（店員）	・年末商戦で催事も多くなるのと、9月はあまり良くなかった分、徐々に良くなると思う。
		乗用車販売店（管理担当）	・新車が10月に2車種出るので、来客数がやや増え、販売増につながると思う。以前は安い中古車売れていたが、新古車売れているので、売上高は回復している。ただ、乗替えまでの年数は7年から10年に伸びている。
		タクシー運転手	・ゴルフなどの観光客が増えてくと期待している。
美容室（店長）	・通常10～11月は暇な時期になるが、今年はDMを出したので少しは多くなると思う。		
変わらない	商店街（代表者）	・行事や旅行が増えて、ある程度ものが売れている。	
	商店街（組合職員）	・お金はあるべく使わないという姿勢が強いように思う。	
	一般小売店〔食料雑貨〕（店員）	・年末に向かって需要は高まるが、それを除けば変わらない。	
	百貨店（営業担当）	・来客数は前年並みをキープしているが、一人当たりの売上単価は下がっている。組合せて勤めても、単品で買われる。	
	百貨店（業務担当）	・プロ野球優勝セール等の特殊な要因による売上増はあるかもしれないが、継続性はなく、本来の回復に至らない。	
	スーパー（店長）	・営業時間延長による売上増はあるが、ほとんど変わっていない。	
	スーパー（総務担当）	・食品は昨年並と思われるが、衣料品や住居用品は売れ行き不振で、バーゲン品のみが売れている。	
	コンビニ（販売促進担当）	・スーパーや外食産業の値引販売が激化する中で、一回価格を下げてしまうと、数は出ても売上がなかなか上がり、今後2、3カ月先もこの傾向は変わらない。	
	衣料品専門店（総務担当）	・良いものを安く出すと必ず売れているので、購買意欲はあると思う。	
	家電量販店（店長）	・新商品が伸びているが、既存商品が伸びていない。	
	家電量販店（店員）	・パソコンは10月に入って新製品が出てくるが、大きな仕様の変化がないので買い控えが起こると思う。新規に買う客はほとんどなく、買い換えの客も非常に少ない。	
	乗用車販売店（従業員）	・販売台数がこれだけ落ち込めば、人員削減や給料、ボーナスにもかかわり、景気が良くなるどころではない。	
	その他専門店〔ガソリンスタンド〕（統括）	・冬のボーナスが夏と同様に期待できない。	
	都市型ホテル（スタッフ）	・宿泊やレストラン、宴会の予約状況を見ると良くなるとは思えない。	
	都市型ホテル（副支配人）	・予約状況をもても、客単価、予約量ともにほとんど動きが見られない。	
	タクシー運転手	・冬のボーナスが下がると思うので、年末年始だからといって客の動きは変わらないと思う。	
	タクシー運転手	・公務員の給料がこれから先、下がるようだが、それが今後消費にどのような影響があるか不透明である。	
	通信会社（営業担当）	・ほぼ一定の数値で注文が推移しているブロードバンド系商品は、今後も同様の動きになると思われる。高速化に対応する商品次第ではさらに普及が進むと考えられる。	
	観光名所（職員）	・競争が激しく、客単価は上げられない。季節的に客は増えるが、利益率は良くない状況がしばらく続くと思う。	
	ゴルフ場（従業員）	・給料が下がっているところへ、10月から雇用保険や社会保険の負担増が消費意欲を削いでいると思う。	
	競輪場（職員）	・年末に向けて、遊競技に使える額は増えないのではないかと。来客数も伸び悩んでおり、悪い状態が続くと思われる。	
	住宅販売会社（従業員）	・見込み情報が非常に少ない上に、契約件数は去年と変わらず、1件当たりの単価が下がっている。住宅公庫の申込みも出足が非常に悪く、先行きが不安である。	
	住宅販売会社（従業員）	・住宅購入を決断する客の数は当面増えそうにない。	

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	やや悪くなる	商店街（代表者）	・業績不振で、撤退や廃業が続いている。
		百貨店（売場主任）	・客の欲しいものは高額品でも好調だが、必要でない物には全く関心を示さない傾向が強くなっている。商品によって好不調の差が非常に激しく、トータルでは悪くなっている。
		百貨店（営業担当）	・金券交換の率が年々高まっている。また、買上に伴う金券の回収率も前年より増えている。客は現金を手元において金券での購入を主力にしている、金券がなくなれば、購入意欲が減退すると思われる。
		百貨店（営業担当）	・先行きの景気は良くなるという兆しがなく、売上も伸び悩んでいる。
		百貨店（営業担当）	・購買意欲が大変落ちている。今後、さらに景気は落ち込みそうなので、厳しい状況が続くと思われる。
		百貨店（販売促進担当）	・冬のボーナスの減少が予想され、そのあおりで消費に回される額が少なくなる。
		百貨店（売場担当）	・新たな競合店のオープンや既存店の競合激化で依然厳しい状況が続く。
		スーパー（店長）	・単価に加えて、最近は買上点数が下降気味である。
		スーパー（店長）	・気候に関係なく買い控えが広がっている。
		スーパー（店長）	・パートタイマー募集への反応が今までより非常に多くなっている。応募者も正社員だった人や、20代前半のフリーターといったこれまでになかった層の応募が増えている。
		スーパー（経理担当）	・年末にかけて同業他社の出店が数多く見込まれ、既存店に影響が出ると思う。
		衣料品専門店（店長）	・残暑が続く、秋物さえもバーゲン処分をしなければならない状況である。
		旅行代理店（従業員）	・今後景気が良くなると見込めないで、旅行客も減るだろう。来客数も少なく、厳しくなっている。
		旅行代理店（業務担当）	・社会不安が増してきて、需要が期待できない。
		通信会社（業務担当）	・10月以降、新商品が発売される予定があるものの、需要増にはつながらない見込みである。また、低価格商品の投入も減って厳しい状況である。
		テーマパーク（職員）	・ゴルフ場をリニューアルするのと、ゴルフ練習場が新たにオープンするのでプラスはあるが、月末に一時休止またはクローズするアミューズメント施設の落ち込みがそれ以上に大きくなると思う。
		パチンコ店（店員）	・先行き不透明な経済情勢と来年からの保険料の値上げで、今後、財布の引き締めがあると思う。
	美容室（経営者）	・売上が上がる材料や景気回復に向けた対策が感じられない。	
	設計事務所（所長）	・計画や企画が非常に減っている。	
	悪くなる	百貨店（営業担当）	・いろいろな情報発信をしているが、手応えが少なくなっている。また、クリスマスは期待しているが若い所帯の所得減のため厳しい状況である。
スーパー（企画担当）		・競合店の出店により悪くなると思う。また、客単価減によるディスカウント的な展開もマイナスになるだろう。	
コンビニ（店長）		・去年は米国テロの影響で、修学旅行客が多く買物にきたが、今年はそういう要素がない。	
高級レストラン（経営者）		・例年、この時期には忘年会の予約や問い合わせがあるが、今年は全くない。	
一般レストラン（スタッフ）		・このところ続いている来客数の減少が来月も続くと思われる。	
		スナック（経営者）	・客からデフレなので料金を下げないかと言われたが、一度下げると元に戻すのが大変なので迷っている。スナックに行く気になれないほど、消費を控えているような気がする。
企業動向関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	農林水産業（経営者）	・3カ月前の原料調達は大きな問題がなく、秋から冬にかけて消費も安定してくると思われるので、期待している。
		食料品製造業（経営者）	・鹿児島を舞台にしたテレビドラマの放映開始や新規航空会社の参入による運賃の値下げなどにより観光への良い影響が期待できる。
		家具製造業（従業員）	・関東向けの物件情報はかなり集中しているので良くなると思うが、九州向けに限ればあまり良くなると思う。
		電気機械器具製造業（経営者）	・新規事業が10月からスタートし、根本的に収益を改善するまでにはいかないが、新規事業の分だけ確実に良くなる。
		建設業（営業担当）	・受注見込みの情報量が官民各方面より増加しており、将来的に受注量が増加すると思われる。

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
	変わらない	輸送業（従業員）	・新製品の売り込みや発注に東奔西走している。それによって注文は月を追うごとに良くなっていくと思う。
		窯業・土石製品製造業（経営者）	・季節的な要因で、器の需要がガラスから焼き物にシフトすると思うが、消費は不調で、流通も倒産などで混乱している。
		一般機械器具製造業（経営者）	・仕事の引き合い内容や価格を考えると良くなるとは思えない。
		輸送用機械器具製造業（営業担当）	・設備投資や増員するだけの余裕はないが、現状の忙しさは今年中まで続くと思われる。
		建設業（総務担当）	・今後大きな工事の増加は見込めない。企業の設備投資、個人の住宅着工の増加は見込みが薄い。
		輸送業（総務担当）	・半導体は8月から出荷が減ってきているが、他の商品については特別大きな動きがない。
		広告代理店（従業員）	・マンション販売の広告は活発だが、年間で最も広告が多くなる10～12月の受注が停滞している。
		その他サービス業〔物リース〕（従業員）	・今後の受注見込みや客との話を考えるとほとんど変化がないと感じる。
	やや悪くなる	電気機械器具製造業（経営者）	・材料屋等の話ではここにきて材料の出が悪くなったという。また、半導体の装置関係の部品も非常に動きが鈍くなっている。
		広告代理店（従業員）	・出稿量、注文いずれも少なく、悪くなると思う。
経営コンサルタント		・株式市況が今後さらに悪化する見込みが強く、ペイオフの完全解禁に向けて、金融機関をはじめとして非常に厳しい状況に置かれるのではないかと。	
悪くなる	繊維工業（営業）	・海外で物を作りすぎて在庫が出ており、国内の工場には仕事がかからない状況になっている。	
	不動産業（従業員）	・金融機関の対応が依然厳しく、資金繰り悪化による倒産企業の増加による影響が懸念される。	
雇用関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	人材派遣会社（社員）	・県の緊急雇用対策事業に関連する職業訓練の引き合いが増えている。
	変わらない	人材派遣会社（社員）	・日常の営業の中で、企業の側から明るい材料を逆に求められ、積極的な雇用に関する話題がない。
		求人情報誌製作会社（総務担当）	・アルバイト、パート、派遣のニーズは堅調で、企業は正社員以外の雇用形態を求めているが、やはり正社員の採用が上向きにならないと、景気は大きく変わらないと思う。
		職業安定所（職員） 民間職業紹介機関（職員）	・事業主に話を聞くと、先行き不透明という回答が多い。 ・IT関連は好調で、他業種も経理、財務、人事などの求人が若干来ており、兆しとしては明るい。しかし高齢者の求人が非常に少なくなっており、総合的にはまだまだ変わらない。
	やや悪くなる	求人情報誌製作会社（編集者）	・11月に出店を控えている大手家電量販店の求人の動きが出てきたが、市場が活性化するほどではない。
		職業安定所（職員）	・大手の造船重機関連及び一部大型店を除き厳しい状況にある。来春新規高卒者対象の求人数は8月末現在前年比1割以上減少しており、好転するには程遠い。
	悪くなる	学校〔専門学校〕（就職担当）	・都会では景気は上向きに転じているようだが、地方ではリストラが進んでいると思う。雇用形態も厳しくなっているし、これから先、不安である。